

がん検診

受診率50%以上目標

広島県が推進計画素案

広島県は二十五日、医療関係者らでつくるがん対策推進協議会を県庁で開いた。県側は、胃が

ん、肺がんなど五種類のがん検診の平均受診率を二〇一二年度までに50%以上に引き上げる―との

目標を盛り込んだ「がん対策推進計画」の素案を示した。素案では、市

県によると、市町が実施している胃がん、肺がん、大腸がん、子宮がん、乳がんの各検診の〇五年度の受診率は平均

16・5%。素案では、市町の検診の受診者増を図る一方、企業の健康保険組合や個人の人間ドックでの受診者数の把握を進め、全体で「がん検診の受診率を50%以上とする」との目標を定めた。

た。

渡すよう通知する。

着手

JR福山駅南口では、伏見町地区でも再開発計画（事業費三百二十五億円）が進み、本年度中の事業計画の認可申請を目標にしている。

具体的検討課題として、仕事帰りや休日にも受診できるようにしたり、受診時に子どもを預けたりする体制整備の必要性を指摘している。この日の協議会でも「検診の機会を増やすなど住民ニーズに応えないと目標達成は難しい」との声が出た。

県は、これらを踏まえて年内にも原案を作成して公表。県民の意見を募った後に、来年三月までに計画を策定する。

お得に

広島市や市内の交通事業者でつくる実行委員会は、十一月の「マイカー乗るまあデー」（毎月二十二日）前後の十九・二十五日、割安で利用できる一日乗車券の発売や、利用者への飲食店などの料金割引で公共交通の利用を促すキャンペーンをする。飲食店と連携して実施するのは初めて。

（岡田浩平）

（瀧上健太）